



下都賀地区 PTA 指導者研修 I

6月30日(金)南河内公民館大ホールを会場に、下都賀地区PTA指導者研修Iを開催しました。昨年度までは、コロナ禍もあり、対象を限定して開催していましたが、今年度はたくさんのPTA指導者の方々に参加していただくことができました。研修では、「『PTA活動の目的・指導者の役割』とは」をテーマとし、グループでの意見交換を中心に行いました。

【参加者の感想】

- PTAの目的、役割について自分がこれからどう活動していくかのモチベーションが上がる研修になりました。
- アフターコロナのPTA活動をどうするか考える上で、多くの意見を聴くことができ、参考になりました。
- 改めてPTA活動の在り方、活動の意味を考えるよい機会になりました。



下都賀地区人権フォーラム

6月8日(木)栃木市藤岡文化会館にて、人権教育指導者一般研修「下都賀地区人権フォーラム」を開催いたしました。講師として、埼玉大学基盤教育研究センター准教授 渡辺大輔氏をお招きし、「性の多様性をめぐる学校教育の課題」をテーマに講演会を行いました。性の在り方は様々で、マイノリティが「特別な人たち」ではなく、誰もが「それぞれのセクシャリティをもつ一人」という考え方が大切であること、子どもたちが安心して生活できる環境を整えることの必要性をお伝えいただき、このテーマを自分事として捉えながら共生社会の一員として、自分には何ができるかを考える機会となりました。

～参加者の感想～

- 自分の中にあるバイアスを認識し、言動を省みたいと思いました。
- これからの学校教育に必ず必要になる内容でとても参考になりました。
- 改めて、知ることの大切さを感じました。知らないことをたくさん知れてよかったです。



小山市

「若い人たちの力が生きる 小山市立生涯学習センターへ」

小山市立生涯学習センターは今年度から市生涯学習課が直接運営する施設として再出発しました。目指すのは小山市における社会教育・生涯学習の活性化や立場・地域を越えた連携協力の基盤づくりであり、生涯学習推進の「センター(中心)」として多様な人々の結びつきを改めて築くことです。



中でも、中高生をはじめとする子どもや若者が活発に生涯学習センターを利用したり、生涯学習の考え方に共感したりしてもらえるよう働きかけていて、4月には高校生自主企画にて「おやま MIRAI フェス」の名で軽音楽バンドの発表会を開催し、5月に行われた「生涯学習フォーラム」でも若い人たちが活発に発言しました。



生涯にわたる学びのパートナーとして市民の皆さんを全力で応援するセンターの在り方を見つけ出し、そこに若い人たちの力が生きる仕掛けづくり、環境づくり、人づくりを図ります。

太平少年自然の家

「豊かな体験活動の提供」



太平少年自然の家では5月に主催事業「踏破だ!太平山」を開催しました。小学3~6年生を対象とした1泊2日のキャンプです。1日目は3つの山を踏破する山登り。約10kmの険しい道も諦めずに登り切り、全員でゴールすることができました。また、夜はキャンプファイヤー、2日目は野外炊事(カレー作り)を行い、初めて出会った仲間とも絆を深めることができました。参加した子どもたちからは、「本当に楽しかった」「また参加したい」という声が聞かれ、充実した2日間となりました。

太平少年自然の家は、今年度(令和6年3月末)をもって閉所となります。残りわずかですが、今後も「上質な事業」と「真心対応」でみんなが笑顔、そして幸せになるよう取り組んでいきたいと思ひます。



「共生社会の実現に向けて」PART2 「障害者の生涯学習」

平成30年文部科学省では、「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究」を行いました。その中で、学校卒業後の学習活動に関する障害者本人等へのアンケート調査を行ったところ、「障害者本人の学校卒業後における生涯学習に関する課題」について、『一緒に学習する友人、仲間をつくる機会が少ない』『学費を払う余裕がない』『学ぼうとする障害者への社会の理解がない』といった課題が上がりました。このような調査結果をもとに、第1回下都賀地区ふれあい学習推進会議では、「障害の有無にかかわらず、共に学び、生きる社会の実現に向けて、障害者の生涯学習を推進するために必要なこと」をテーマに協議しました。それぞれの立場からの意見が交わされ、「障害者への理解を深めるための手立て」、「障害者が学ぶための場所の確保」、「行政機関と様々な団体、企業とのネットワークの構築」等が挙げられました。9月に行われる第2回の会議では、実際に障害者の方々が活動する福祉施設を見学し、障害者の学びの機会の充実のためにそれぞれの立場でできることについて考え、その実現のため、協議していく予定です。

「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。